

平成29年度 学習指導計画書

教 科	芸術	科目・単位	音楽I・2単位
学科類型	普通科・人間総合科	学 年	第1学年
教科書	教育出版 音I Tutti		
副教材			
学習目標	1 豊かな響きをもった歌声や美しい音色に関心を持ち、音楽美を理解する。 2 歌詞の内容や言葉から情景を思い浮かべ、音楽の理解を深める。 3 良い音楽を鑑賞し音楽鑑賞の好ましい態度を養うと共に美的感覚を洗練し情操を高める。 4 創造的な自己表現力を高め、個性の伸長を図る。		

学習内容

学期	学習内容	学習のねらいと指導上の留意点
1	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱（校歌他） ・コードの学習と楽典 ・楽器（キーボード） 	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱曲を歌い、ハーモニーの美しさを聴き、感じる ・基本コードを学び、音楽がどのような仕組みで作られているか学習する ・基本的な音楽の知識を身に付け、楽譜が読めるようにする ・実際に演奏してみる
2	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱 ・楽器（リコーダー、キーボード） ・鑑賞 	<ul style="list-style-type: none"> ・原語、様々な形式（斉唱、重唱、カノンなど）で歌ってみる ・同じ楽器、異なる楽器を奏しアンサンブルをする楽しさや美しさを感じる
3	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱（芸術歌曲） ・楽器（リコーダー、キーボード） ・鑑賞 	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術歌曲＝イタリア歌曲、ドイツ歌曲を聴き、歌い、西洋音楽の豊かさ、美しさを味わう ・イタリア語、ドイツ語の歌詞で歌ってみる ・ポピュラー音楽との違いを考えてみる
4	<ul style="list-style-type: none"> ・演奏と発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・曲目、使用楽器などは個人で考え、曲を作り上げる過程を個人で計画し発表する

平成29年度 学習指導計画書

教 科	芸術	科目・単位	書道Ⅰ・2単位
学科類型	普通科・人間総合科	学 年	第1学年
教科書	東京書籍 書道Ⅰ		
副教材	硬筆レッスン帳 和田康子著 (教育図書)		
学習目標	書写と芸術書道の違いを理解し、様々な作品の鑑賞と手法(技法)を学んでゆくことで、自分の意思を文字で表現できることを目的とする。		

学習内容

学期	学習内容	学習のねらいと指導上の留意点
1	<ul style="list-style-type: none"> ・書写から書道へ ・硬筆作品作成 ・毛筆 ・うちのわの作品 	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校での国語科書写と芸術書道の関係と違いを理解する。 ・つけペン・つけインクを使用し、本格的な作品作りの関心を持たせる。 ・筆の特性を学ぶ。 ・筆の特性を活かして、うちのわに作品を書く。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・毛筆 (楷書) ・九成宮醜泉名 ・牛橛造像記 	<ul style="list-style-type: none"> ・毛筆の基礎を学ぶ。 ・様々な作品を鑑賞し、書風と書風の違いを理解する。 ・書風が特に異なる2作品を学ぶことで、古典の美と表現技法に関心をもたせる。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・毛筆 (行書) ・蘭亭序 	<ul style="list-style-type: none"> ・書家として最も有名な王羲之の書と人について理解を深め、行書に親しみを持てるようにする。 ・楷書と行書の違いを理解する。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・毛筆 (仮名) 細字 ・合作 (画仙紙使用) ・グループ作品 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひらがなの誕生・成立を学ぶ。 ・仮名ならではの美を理解する。 ・他者と意思疎通し、協力しながら作品に挑む。 ・自身の意見を述べ、他者の意見を聞き、総合的に理解しあうことも学ぶ。

平成29年度 学習指導計画書

教 科	芸術	科目・単位	美術Ⅰ・2単位
学科類型	普通科・人間総合科	学 年	第1学年
教科書	光村図書出版 美術Ⅰ		
副教材			
学習目標	<p>美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、美術を愛好する心情を育てるとともに、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。</p> <p>美術を身近なものとして捉え、日常生活の中に応用していく思考を養う。</p>		

学習内容

学期	学習内容	学習のねらいと指導上の留意点
1	<p>オリエンテーション</p> <p>絵画： クロッキー</p> <p>絵画： 鉛筆デッサン</p>	<p>美術の在り方について理解する。</p> <p>デッサンをする前の訓練として、描くことに慣れる。</p> <p>身近な画材で、身近な自分の手を描くことによって、普段から身の回りには美術を表現できることを理解する。</p>
2	<p>デザイン： 色彩構成</p> <p>彫刻： 消しゴムハンコ作り</p>	<p>色の構成を知り、これからの制作に役立てる。</p> <p>堅い素材ではなく、削りやすい消しゴムを彫ることで、身近に彫刻があることを感じさせる。更に楽しみを発見する。</p>
3	<p>立体： 段ボールによるドアプレートづくり</p>	<p>お金をかけない材料を利用することによって、制作の楽しみの幅を広げる。</p>
4	<p>デザイン： 自国の記念切手</p> <p>まとめ</p>	<p>アニメーションの原理を理解し、起承転結で表現する力を身に付ける。</p> <p>学習活動を振り返り、今後の美術の関わり方を考察する。</p>